



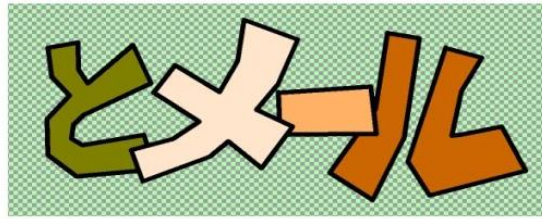
75歳医療費窓口負担2倍化ストップ!!活動推進コース

発行団体

- 全日本年金者組合中央本部
- 中央社会保障推進協議会
- 全国保険医団体連合会事務局
- 日本高齢期運動連絡会

東京都中野区中央5-48-5 シャン
ポール中野504
☎ 03-3384-6654

2022年1月24日発行 No3



◆中央社保協 1・14巣鴨で宣伝

中央社保協は1月14日、寒風が吹きすさび、署名やステッカーがふき飛ばされる状況の中、巣鴨で宣伝を行いました。署名の反応は良く、強風で署名用紙を抑えながらでしたが、2倍化中止署名17筆を含む合計68筆の署名が集まりました。弁士の訴えに、「よく頑張っている。応援する」と声援してくれた方もいました。



◆吉原毅さん(城南信用金庫名誉顧問)などからメッセージ

・・・東京高齢期運動連絡会

東京高齢期運動連絡会事務局では、運動の輪を広げるために、いろいろな方にメッセージをお願いする取り組みを始めました。寄せられたメッセージから、吉原毅さんのメッセージを紹介します。

城南信用金庫名誉顧問 吉原 毅さん

人生100年時代と言われ、健康寿命の延伸が求められています。高齢者の活躍の場や、就労の機会の創出が必要とされる中、今回の負担増は活動の大前提となる「安心と暮らし」に逆行するものです。社会保障を全世代型にして、現世代の負担減を目指すのであれば、充実した社会保障を維持して、高齢者の活躍を促進し、経済の活性化を図り「令和版所得倍増計画」を実現することを目指すべきではないでしょうか。負担の倍化により、後期高齢者の「受診控え」という事態を招くことのない政策を望みます。

まもなく発売!類書なし 東京高齢期運動連絡会 発行

ブックレット「75歳以上の高齢者医療窓口負担2割化を中止させよう」(定価300円)

執筆者 村田隆史(京都府立大学 准教授)

寺尾正之(公益財団法人 日本医療総合研究所 研究・研修委員)

鐘ヶ江正志(一般社団法人 高齢期運動サポートセンター専務理事)

菅谷正見(東京高齢期運動連絡会 事務局長)

吉岡尚志(日本高齢期運動連絡会 代表委員)

※注文は東京高齢期運動連絡会(Tel03-5956-8781、fax03-5956-8782)まで

◆「2割化」中止法案の提出・予算案の組み替え修正を各政党・各議員に要請・・・保団連

全国保険医団体連合会（保団連）は「医療・社会保障の充実へ、政府予算案の組み換え提案を求めます」および「コロナ禍に高齢者にさらなる負担をかけ、受診抑制を招く、『75歳以上医療費窓口負担2割化』は中止してください」とする要望書を、1月14日付で各政党に、17日付で各国会議員、マスコミ宛に送付しました。

『2割化』中止の要望書では、昨年実施した開業医意識・実態調査で明らかになった受診遅れや重症化事例を紹介し、「よりいっそう受診抑制を招き、高齢者の早期受診、早期治療の機会を奪う窓口負担2割化は中止すべき」と求めました。

要望書は全国保険医団体連合会ホームページをご参照ください。

<https://hodanren.doc-net.or.jp/>

保団連新リーフ完成！

全国保険医団体連合会は、2割化ストップの世論を広げるため、医療制度改悪を解説するリーフレットを作成しました。街頭宣伝や地域の学習会などでぜひご活用ください。

注文・問い合わせは、全国保険医団体連合会事務局・医療運動担当まで（☎03-3375-5190）

保団連作成リーフ

75歳以上の医療費窓口負担が2倍!?

75歳以上の医療費窓口負担

2割化はまだ止められる!

高齢者の医療費窓口負担は重い

年齢層	収入に占める医療費窓口負担の比率
30～39歳	1.0%
75～79歳	3.9%
80～84歳	4.6%
85歳以上	5.9%

約4～6倍

2021年の通常国会での各党の「2割化」法案への態度

反対!

- 立憲民主党
- 日本共産党
- れいわ新選組
- 社民党

賛成!

- 自民党
- 公明党
- 日本維新の会
- 国民民主党

※各地域の宣伝行動、学習会等の写真をぜひお寄せください。

【今後の予定】 署名集約日：2/10 各中央団体へ送ってください

2/2 衆議院第一議員会館 第7会議室 ※別紙チラシ参照

老人医療有料化から38年 高齢者中央集会 10:30～12:30

学習講演 浜岡正好先生(佛教大学) 終了後 議員要請行動

2/18 参議院議員会館 101会議室 ※別紙チラシ参照

10時30分～学習講演 唐鎌直義先生(佐久大学) 「高齢者負担増を考える」

12時～13時 国会議員要請と署名提出集会